

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練習について

- (1) 練習会場では、逆走、チューブ・牽引ロープ等の器具を使った練習、レーン内にミニハードル・マーク等を置いて行う練習は、危険防止のため禁止とする。
- (2) 練習会場は、本競技場（開門時間～9：00）、どらパーク広場（野球場横の土グラウンド（スポーツ広場））とする。
なお、スポーツ広場との往来については、交差点横断の際十分注意すること。
（小学生以下の選手については、指導者等の付き添いをお願いしたい）
- (3) ウォーミングアップは、周回競技の5分前までは、バックストレートを使っても良いこととする。ただし、逆走、ミニハードル等使用してのアップは禁止する。
 - ・定められた場所をゆずり合って、安全面に注意して使用すること。競技役員の指示に従うこと。
 - ・競技開始前の準備中・競技中は競技に支障がないように競技役員の指示に従うこと。
- (4) アップでの投てき物の使用は危険が伴うため禁止する。投てき種目のアップは公式練習のみとし、必ず競技役員の指示に従って練習を行うこと。
- (5) 走路の使用は原則として次のとおりとする。（状況により変更がある場合は競技役員の指示に従うこと。）

◎本競技場 ◆1～2レーン：中長距離 ◆3～7レーン：短距離 ◆8レーン：ハードル

※練習可能時間は開門時刻～9：00まで

3 招集について

- (1) 招集所は、本競技場サブスタンド下器具庫内フィニッシュ側、100mゴール付近に設ける。
- (2) 招集時刻について
 - ア トラック種目は競技開始20分前に完了する。
 - イ フィールド種目は競技開始30分前に完了する。ただし、棒高跳は競技開始60分前に完了する。
- (3) 招集の方法について
 - ア 競技者は、招集完了時刻までに招集所内の席で待機し、点呼を受ける。その際、アスリートビブス、スパイク、商標等の点検を受ける。（トラック種目のみ腰ナンバーカードを受け取り、出発までに右腰臀部やや後方に付ける。）
 - イ カメラ類、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器デジタルメディアプレーヤーを含む）の競技区域内への持ち込みは禁止する。（競技規則6.3.2）
 - ウ 代理人による点呼は認めない。多種目を同時に兼ねる競技者は「多種目同時出場届」（招集所に準備する）を競技者係（招集所）に提出し、競技進行に支障のないようにすること。
 - エ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして処理する。（TR4.5）

- オ 欠場する競技者は招集完了時刻までに所定の「欠場届」(招集所に準備する)を競技者係(招集所)に提出すること。
- カ アスリートビブスは配布された形で、胸・背部両面にはっきり見えるように付けること。ただし、跳躍種目は背部または胸部のみでもよい。アスリートビブス・腰ナンバー共にいかなる方法でも見えなくしてはならない。(TR5.7~5.11))
- キ 2種目以上(例えばトラック競技とフィールド競技)を同時刻にかねて出場する選手は、あらかじめ2種目同時出場届を競技者係に提出する。その際、役員の指示をよく聞き、指示に従って行動すること。(トラック競技優先とする)

4 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順はプログラム記載順序による。ただし、決勝の組み合わせ、レーン順は主催者が公平に決める。
- (2) トラック競技で次のラウンド進出者を決める際に同成績があった場合、0.001秒単位で判定をして進出者を決める。それでも判定できない場合は同成績とし、抽選により進出者を決める。(競技規則21.2及び21.5)
但し、空きレーンがあるか、走る場所がある(800m競走でレーンに複数割り当てる場合を含む)場合、同成績者は次のラウンドに進むことができる。抽選が必要になった場合は、当該競技者にアナウンスで連絡し、大会本部にて当該競技者またはその代理人により抽選を行う。
(競技規則21.3)

5 競技について

- 各種目とも競技役員等の説明・指示を聞き、厳守すること。

(1) トラック競技について

- ア 一度の不正スタートで責任を有する競技者は失格とする。ただし、小学生については同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。また、小学生のスタートについて、スターティングブロックの使用は4年生以上の決勝のみとする。1・2年生はスタンディングスタートでもよいが、必ず静止すること。3年生以上はクラウチングスタートのみとする。
- イ トラック競技は全て写真判定装置を使用する。
- ウ 予選出場者が8人以下(リレーの場合は8チーム以下)となった場合は、決勝時刻に決勝を行う。
(予選の招集完了時刻に決定)
- エ レーンの競走についてはフィニッシュライン通過後も自己レーン(曲線)に従って走ること。
- オ 長距離種目については、気象状況によっては給水を実施する。
- カ リレーに使用するマーカーは、1人1か所、貼ることができる。マーカーは前走者が取り除くものとする。
- キ 「リレーオーダー用紙」(招集所に準備する)は、各ラウンド第1組の招集完了時刻の1時間前までに、1部を競技者係(招集所)に提出すること。すべてのラウンドにおいて同様に提出すること。一度申告(提出)した後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。招集完了時刻前であっても一度申告(提出)した編成の変更は認められない。医務員の判断による変更は、出場選手の変更のみ認められ、編成(走る順番)の変更は認められない。(競技規則24.12)

(2) フィールド競技について

- ア 競技場内での練習は、全て競技役員の指示に従って行うこと。
- イ 投てき競技の滑り止め剤は自分でも用意すること。
- ウ 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルで行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用することができる。
- エ 三段跳について、踏切板の砂場からの距離は当日の気象状況等により決定する。
- オ 走幅跳については、計測ラインを設けることがある。
- カ 走高跳および棒高跳の練習及び開始の高さ、バーの上げ方は、当日発表する。

(3) スポレク種目について

- ア 状況に合わせて、一般種目で人数が少ないものは、同時に競技する。
- イ 走幅跳、砲丸投、ジャベリックボール投は3回の試技とする。

6 競技用具について

- (1) 投てき用具は、原則、競技場に備え付けのものを使用する。持ち込みを希望する場合は、当日招集開始60分前までに大会本部に申告して技術総務による検査を受け、合格したものについては2個まで持ち込みを認める。また、検査に合格した用具は一括借り上げし、すべての競技者が使用できることとする。

(TR32.2)借り上げた用具は当該競技終了後に現地にて返却する。

- (2) 棒高跳用ポールは個人所有のものを使用することができる。
- (3) スパイク（ピン）の長さは7mm以下とする。走高跳及びやり投は9mm以下とする。ただし、小学生の800mはスパイクを使用しない。その他の形状については、付け替えのできるニードルピン（円錐状のピン）のみ可とする。
- (4) 競技で使用する靴底の厚さは、20mm以下とする。スポレク種目についてはこの限りではない。
(詳細については鳥取陸上競技協会ホームページ参照のこと)

種 目	靴底の最大の厚さ
トラック種目・跳躍種目助走路から行われる投てき種目	スパイクシューズ またはノスパイクシューズ 20 mm (すべての跳躍種目では前足部中央のソールは踵中央のソールより高くなってはならない)
サークルから行われる投てき種目	サークルから行われる投てき種目（砲丸投、円盤投、ハンマー投）を、競技用靴に関する規程（Athletic Shoe Regulations）の適用対象から除外する。 ※2026.4.10より国内適用除外開始 WA2026.3.19承認 ※任意のシューズを着用することが可能となった。

7 表彰について

- (1) 各種目第3位までの入賞者に賞状を授与する。
- (2) 男子女子各1名ずつに最優秀選手賞（会長杯）を贈呈する。

8 その他

- (1) メインスタンド開門時刻は2日間とも7：00とする。
- (2) プログラム訂正は両日とも8：00までに受付へ申し出る。
- (3) 選手控え場所については、芝生スタンド及びサブスタンド（写真判定タワー側）とし、メインスタンドのシート、マーカー等を用いた前日からも含めた集団の場所取りは一切認めない。なお、サブスタンド上ではいわゆるワンタッチテントの使用は飛散した場合高所より落下し危険なため使用禁止とする。ポールとフライシートで構成されるタープの使用は認めるが、ロープを通路や階段上をふさぐように張ることは歩行者の通行の危険を伴うため禁止する。
- (4) メインスタンドでの集団応援は、大会運営に支障をきたす場合があるため禁止する。その他の場所においても、フィールド種目の進行の妨げとなるような応援はしないこと。
- (5) 動画・写真の撮影については、メイン・サイド・バック各スタンドを問わず、指定された場所で行うこと（ただし、試技に係るコーチ席及び表彰に係る指定された区域を除く）。それ以外においても、競技者保護の観点から厳しく対応する場合がある。（撮影した画像の確認、警察への通報等）
⇒正面スタンドの黄色い椅子（上から4段目）より上部を許可する。
- (6) 日傘を使用しながらの観覧・応援等については、メイン・サイド・バック各スタンドを問わず、スタンドの半分から上のみとする。（後方観覧者等の妨げになるため）
- (7) 発病、負傷については応急処置を行うが、以後の責任は一切負わない。
- (8) 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
- (9) 当日の記録は後日当協会WEBサイトにおいて発表する。
- (10) ゴミは各チーム・個人で責任をもって持ち帰る。

9 駐車場に関するお願い

- (1) 10月24日、25日とも混雑が予想されます。来場の際は、可能な限り乗り合わせてお願いします。
- 特に、25日は、テニス、野球のバレーボールの大会が同敷地内で行われます。駐車場には限りがありますので、来場される選手、保護者等への周知をお願いします。